

事業番号	04 07 07	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ひとり親家庭福祉推進事業			担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	こども・家庭課		
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり		E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp		
		4 社会的養護の促進		実施期間	～		

### 1 事業の概要

目指す姿	ひとりで子育てと生計の維持を両立しなければならないひとり親家庭に対して、子どもの養育や健康の維持管理など生活面での問題を解決するための講座を開設したり、一時的に家事・介護等又は保育に係る支援員の派遣を必要としている家庭に支援員を派遣することにより、ひとり親家庭の福祉向上と児童の健全育成を図る。						
現状（予算編成時）	ひとりで子育てと生計の維持を担い、様々な問題を抱えるひとり親が、同じ境遇の親子と講座を通して情報交換等を行える場となっており、一般社団法人長野県ひとり親家庭等福祉連合会からも開催についての強い要望がある。 また、日常生活支援を必要とするひとり親に対して、家庭生活支援員の派遣は生活の安定に有効な手段である。						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)						
	親と子のいきいき講座については、過去1回当たり平均参加者数が30名程度であることから、600名の参加者を見込む。 (平成27年度実施予定回数20回×30名)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 親と子のいきいき講座事業	委託	児童のしつけ、育児、健康づくり、養育費の取得手続き等の講座の開催 委託先:(一社)長野県ひとり親家庭等福祉連合会		1,217	1,217	1,217
2. ひとり親家庭日常生活支援事業補助金	補助金	ひとり親家庭において、一時的に生活援助、保育援助が必要な場合に家庭生活支援員を派遣		488	388	479	
3. ひとり親家庭しおり作成 等	直接	ひとり親を対象とした福祉制度の周知 等		157	90	213	
4. 子どもの生活・学習支援事業	直接・補助金	・食事の提供を含めた居場所づくりの実施 ・ひとり親家庭の子どもに対する学習支援を実施 ・学習支援ボランティア養成研修会の実施		-	-	2,060	
5. ひとり親支援ネットワーク強化事業	直接	ひとり親支援に関わる職員の資質向上及び連携強化、施設の支援機能の強化及び活用の促進を図るための研修会を開催		-	-	248	
合計				1,862	1,695	4,217	
事業コスト	区分(単位:千円)						
	前年度繰越	25年度	26年度	27年度	28年度		
	当初予算	0	0		7,396		
	補正予算	2,054	2,059	1,862	4,217		
	合計(A)	2,054	2,059	9,258	11,613		
	一般財源	1,049	1,054	930	2,086		
	県債						
	国庫支出金	1,005	1,005	8,328	9,476		
	その他	0	0	0	51		
	決算額(B)	1,510	1,790	1,695			
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.30		
概算人件費(C)	826	826	828	2,483			
概算事業費(B(A)+C)	2,336	2,616	2,523	14,096			
成果目標の達成状況							
項目	H26末(実績)	H27			H28目標		
		目標	成果	達成状況			
親と子のいきいき講座参加者	720人	600人	616人	達成	700人		
いきいき講座参加者の満足度	-	-	-	-	満足 65%		
学習支援登録児童数	-	-	-	-	60人		
食事提供を行った子どもの延べ人数	-	-	-	-	2,200人		
ひとり親福祉関係職員の理解	-	-	-	-	深まった 60%		
目標に対する成果の状況	親と子のいきいき講座参加者については、委託先((一社)長野県ひとり親家庭等福祉連合会)より積極的にひとり親家庭への周知を行い、616人の参加者を集め、目標を達成することができた。						

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・子どもの生活・学習支援事業のうち、食事の提供を含めた居場所づくりについては、H27年度補正予算を全額繰越し、H28年度より実施する。(地方創生加速化交付金活用) ・その他、ひとり親支援ネットワーク強化など新規事業を加え、更なるひとり親家庭の福祉向上と児童の健全育成を図る。